

## 多摩大学ゼミナール in 永山学園祭プロジェクト

梅澤ゼミ3年：大石展久 2年：酒井駿 高橋草太 中村郁也

## 1. 目的・発足の経緯

本イベントは、多摩大学のゼミナールやサークルの活動成果を紹介すること、グリナード永山に賑わいをつくり、グリナード永山会、多摩市民、多摩大学の交流と新たなつながりをつくることを目的としている。

「永山にある大学と言えば多摩大学」であるが、「多摩大生が地域イベントに参加する姿が見られない」「多摩大学の顔が見えない」という言葉が地域の方々から伝わってきていた。そのような話が、新都市センター開発（株）永山営業所でも話題になり「グリナード永山会住民共生事業」として「永山学園祭」の前日に「多摩大学ゼミナール in 永山学園祭」をゼミで実施してはどうかという提案を永山営業所から頂き、プロジェクトを立ち上げた。

※グリナード永山は、昭和49年10月4日開業。新都市センター開発株式会社が所有している商業施設である。西友をキーテナントとし、約90以上のテナントで構成されている。テナントと新都市センター開発株式会社の組織「グリナード永山会」では地域とのつながりを重要視し「住民共生事業」を行っている。

## 2. イベントの概要

名称：「多摩大学ゼミナール in 永山学園祭」

主催：グリナード永山会（住民共生事業）

共催：多摩大学 梅澤ゼミ「多摩大学ゼミナール in 永山学園祭」プロジェクト

実施日時：平成24年10月20日（土）11：00～17：00

実施場所：グリナード永山（東京都多摩市永山1-4）

会場：屋外会場…グリナード永山・2階マクドナルド前広場

ステージ上にて、時間を区切りパフォーマンスをして頂いた。

屋内会場…グリナード永山2階、エントランス広場

各団体にブースを設けてそこで個々に発表をして頂くような形。

来場者数：約3,000人

## 3. 出演・出展団体一覧（市民団体：3、ゼミ：9、体育会：1、多摩大学・中・高入試部）

## 〔屋外会場〕

- ・パルテノン多摩ストリートオルガン（市民団体）
- ・バンド団体：ザ・ドロシーズ（市民団体）
- ・多摩ハワイアンフラ（市民団体）
- ・多摩大学体育会・フットサル部
- ・多摩り場語り場（梅澤ゼミナール）
- ・クラシックコンサート（樋口ゼミナール）

## 〔屋内会場〕

- ・出原ホームゼミナール
- ・彩藤ホームゼミナール
- ・石川ホームゼミナール
- ・中村その子ホームゼミナール
- ・梅澤ホームゼミナール
- ・片桐プロジェクトゼミナール

- ・松本プロジェクトゼミナール（サンリオゼミナール）・松本プロジェクトゼミナール（Tamauni）
  - ・多摩大学・多摩大附属中学高等学校入試部

#### 4. イベント全体の反省・成果

##### （1）準備段階

###### ◇ 屋外会場担当

反省：出演者への依頼がゼミ担当教員頼りになってしまった。また、準備にはもっと早く取り掛かれる部分があった。

成果：多くの人の協力のおかげで最後まで諦めずに準備を進められ、イベントを無事終わることが出来た。出演者の方と関わりを持つことができた。（人脈の広がり）

###### ◇ 屋内会場担当

反省：早期に出場・出展が決まっている団体も有り、様々な支援、アドバイスもいただいた。また、会場設営が当初の計画と異なり、実際に大きくレイアウトを変更した。その為、多少準備に時間がかかってしまった他、出展者側にも迷惑をかけてしまった。

成果：多くの方から助力を得られたこと。

###### ◇ 看板担当

反省：本番前日によく全ての看板が完成した。もう少し早い段階から作成しておくべきだった。また、事前の準備が遅かったため、遊び心のある看板が作れなかった。

成果：看板制作を通じて、メンバー全体がイベントのイメージをつかむことができた。

##### （2）イベント当日

###### ◇ 屋外会場担当

反省：ゼミ生の仕事量に差が出てしまった。また、出演者の入りの時間がギリギリで新都市側担当者の方にご心配とご迷惑をおかけしてしまった。（出演者の方に責任はなく、運営側の問題）

成果：事故もなくイベントを終えられた。

###### ◇ 屋内会場担当

反省：メンバーの中でも負担と仕事量が偏っていた。

成果：かなりの来場者が来て下さり、終始和やかな雰囲気だった。

###### ◇ 看板担当

反省：屋内担当者との十分な話し合いが出来ていなかったため、当日、どこに看板を貼る（置く）のかを理解しきれていなかった。

成果：自分なりの満足ものはできた。

#### 5、イベント実施後のアンケート

記述方式でアンケートを各団体をお願いしたところ、13団体中7団体から回答を得ることができた。（実施期間：平成24年12月30日～平成25年1月7日・記入方法：ワード・回収方法：メール添付ファイル・質問個数4問）

##### （1）「運営に関する意見・感想をお聞かせください」の回答

###### ①良かった点

・「学生のキビキビとした働きが見ていて清々しかった。」といった学生の当日の働きぶりを褒める回答があった。

・「今後はより大きなイベントになると良い。」といった今後に期待する声も寄せられた。

・「多摩大学をアピールする上では場所・時間共に最適だった」という今回のイベントの趣旨に合致するご意見も頂くことができた。

#### ②改善してほしい点（屋内会場）

・前もって控え室を団体毎に用意しておくべきだった。

・当日の準備時間が開始1時間前だったので、もう少し時間が欲しかった。

・間に入った学生の説明が不十分で、グリナード側の意図が正しく伝わっていなかった感があった。

#### ③意見を踏まえたうえでの改善策

・当日の準備に関する集合時間を早めに設定する。

・出展団体の希望を確実に聞き取り、グリナード側と協議の上、出展に反映されるようにする。

#### ④改善してほしい点（屋外会場）

・空席が目立ってしまった。

#### ⑤意見を踏まえたうえでの改善策

・今後は宣伝にも力を入れ、ポスター、チラシなどを自ら作るなどの努力をし、より多くの方に多摩大学をアピールしていける様、頑張りたいと思う。

#### ⑥改善してほしい点（全体として）

・全体像がなかなか見えてこなかった。

・各団体に対するメールの返答が遅く、不安に思う団体も少なくなかった。

・運営側で、情報の共有が不十分だった。

#### ⑦意見を踏まえたうえでの改善策

・テーマ自体は早い段階で決まっていたので、それを周知させる。

・随時メールの確認をする一方、実際に顔を合わせての会議をメインに進める。

・運営協力者（ゼミ生）へ、早い段階でのミーティング、マニュアル配布、情報共有を徹底する。

### (2)「出演・出展に関する意見・感想をお聞かせください」の回答

#### ①出展（屋内）に関する意見・感想

・限られたスペースで、出展側が活動をしやすいよう色々と配慮をしていたので、非常に有難かった。

#### ②今後に向けて（屋内会場）

・今後もそういった配慮を忘れることなく、出展側が気持ちよく活動を行えるような環境を用意していきたい。

#### ③出演（屋外会場）に関する意見・感想

・当日の進行に関して、事前にメールで打ち合わせしていた内容とは異なった段取りになってしまったので、少々困ってしまった。

#### ④今後に向けて（屋外会場）

・メールではなく、きちんと顔を合わせてのミーティングを行っていく必要がある。

### (3)「多摩大学ゼミナール in 永山学園祭全体に関する意見・感想をお聞かせください」の回答

- ・様々な団体を知ることができたので良かった
- ・ゼミのPRにも繋がり、外部との交流も図れたので、非常に良い経験となった。
- ・多摩大学をアピールする場としては最適だった。ただ認知度が低かった様に思えるので、宣伝に力を入れていけばより良いものになるのではないだろうか。

(4) その他

- ・この項目に関しては「継続的にイベントを行ってほしい」という、今後に期待する声が複数あげられた。

謝辞

新都市センター開発株式会社永山営業所の皆様には、イベント実施に向けて根気強くご指導いただき、大変お世話になりました。また、多々ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。ご参加いただいた市民団体の皆様、永山公民館職員の皆様にお礼を申し上げます。

学内では、入試部職員黒瀬さん、このイベントの企画段階から参加を表明して頂き、貴重なアドバイスをいただきました彩藤ひろみ先生、出原至道先生ありがとうございました。